

川越市

令和2年度決算のポイント



令和3年8月



川越市シンボルマーク

1 決算の規模

【歳入】

一般会計

1,546億8,896万8千円

(対前年度比 421億6,621万3千円増)

【歳出】

一般会計

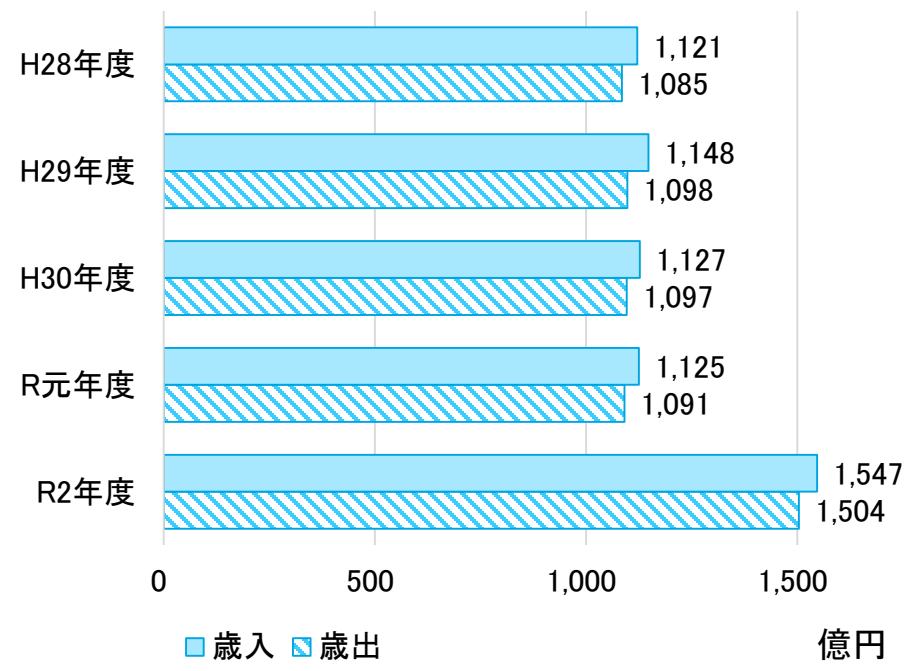
1,504億1,424万4千円

(対前年度比 413億918万円増)

※歳入歳出総額は千円単位とし、単位未満は切り捨てています。

- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、国の財政支援を受け、特別定額給付金の給付のほか、医療提供体制の整備、感染症対策、市民生活・地域経済に対する支援など、様々な対策を講じました。その結果、対前年度比で歳入は約422億円、歳出は約413億円増加し、過去最大の決算規模となりました。
- 歳入は、国庫支出金が約416億円増加したことにより、対前年度比で38%増加しました。
- 歳出は、補助費等が約372億円、人件費が約23億円、扶助費が約20億円増加したことなどにより、対前年度比で38%増加しました。

歳入歳出総額の推移(一般会計)



2 決算の収支

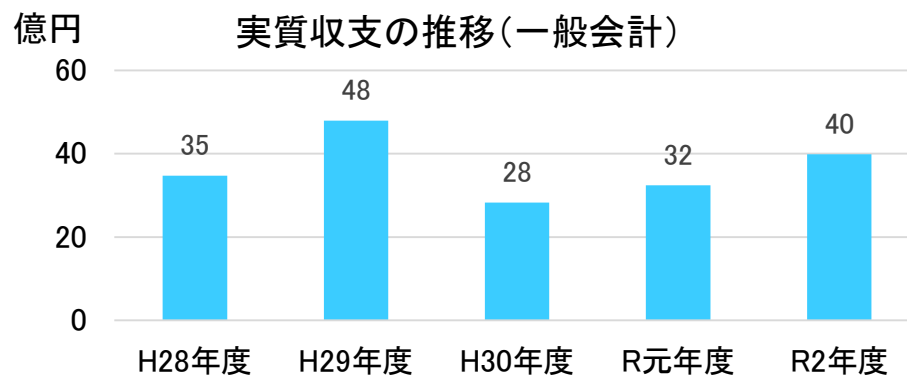
一般会計決算収支の状況

単位：千円

年度	歳入総額 ①	歳出総額 ②	形式収支 ①－②＝③	翌年度へ繰り越すべき財源 ④	実質収支 ③－④＝⑤
元	112,522,755	109,105,064	3,417,691	175,546	3,242,144
2	154,688,968	150,414,244	4,274,723	287,570	3,987,152
比較	42,166,213	41,309,180	857,032	112,024	745,008

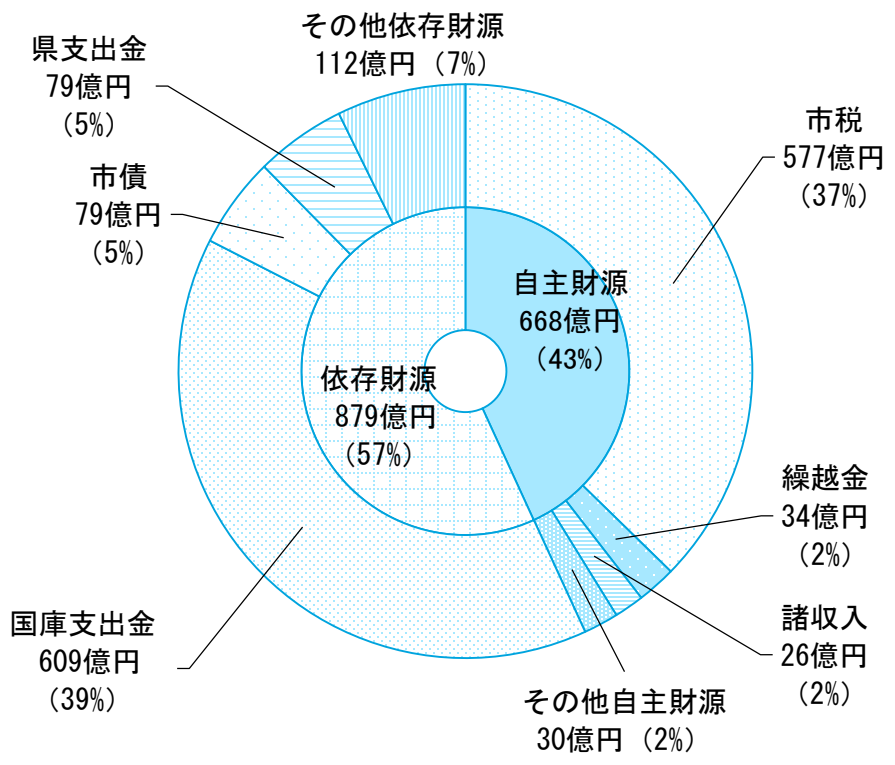
※表中の金額は千円未満切り捨てのため、差引額が一致しない場合があります。

- 歳入総額から歳出総額を差し引き、さらに翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支は、39億8,715万2千円となりました。
- 令和元年度と比較すると、実質収支は7億4,500万8千円の増加です。



3 一般会計歳入の内訳

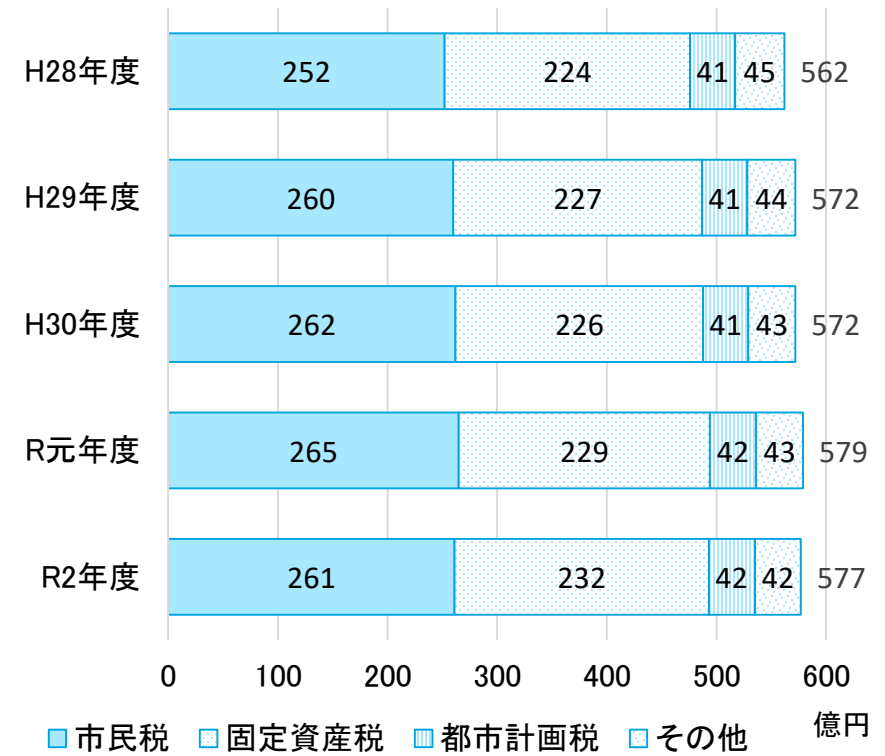
歳入



※計数はそれぞれ四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。

- 新型コロナウイルス感染症関連の国庫支出金が大幅に増加したため、自主財源の比率が前年度の61%から43%まで低下しました。

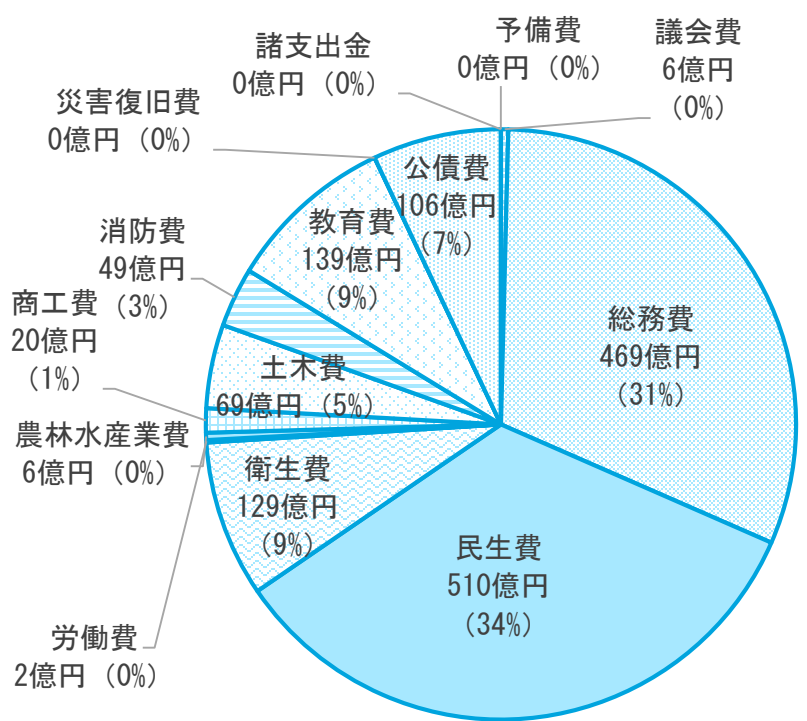
市税収入の推移



- 市民税の減などにより、市税収入全体では、対前年度比で約2億円の減となりました。

4 一般会計歳出の内訳

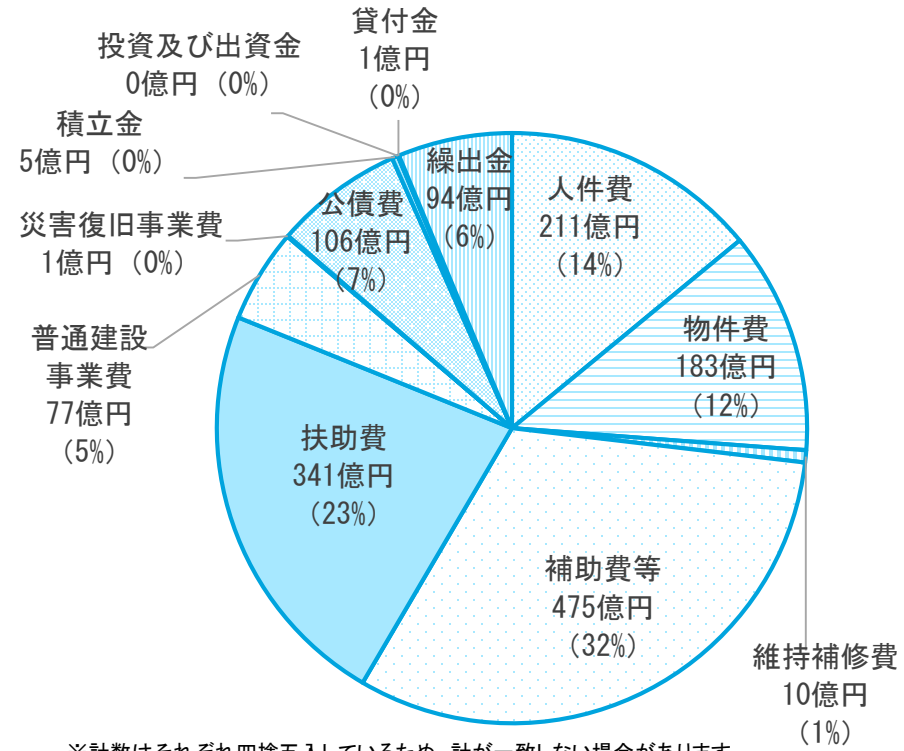
歳出（目的別）



※計数はそれぞれ四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。

- 総務費は特別定額給付金の給付などにより、対前年度比で約359億円の増となりました。
- 衛生費は医療提供体制の確保や感染症対策の取組などにより、対前年度比で約19億円の増となりました。

歳出（性質別）

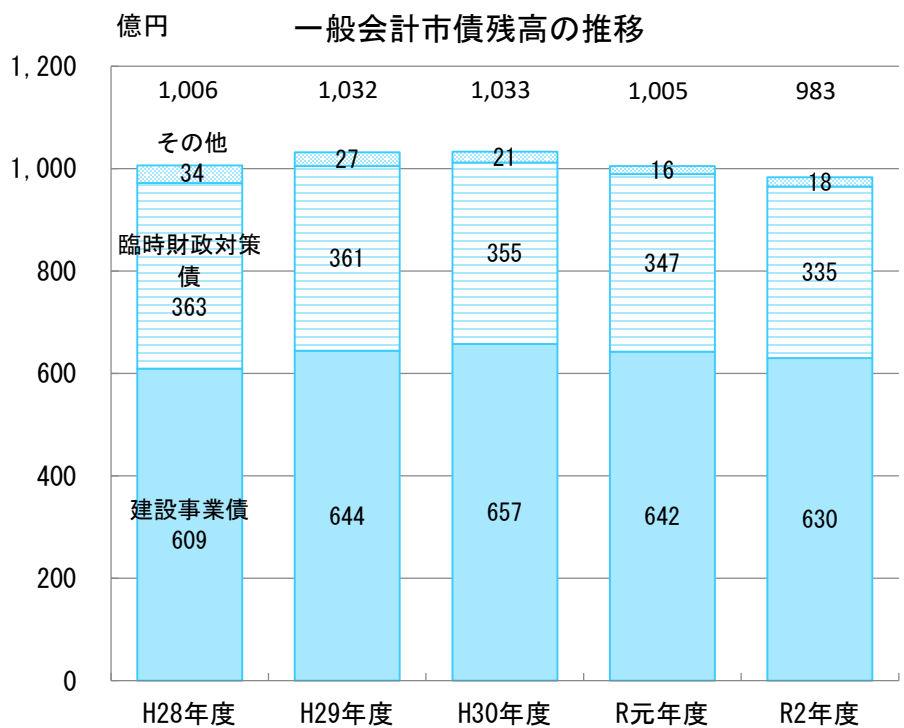


※計数はそれぞれ四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。

- 人件費は会計年度任用職員制度の導入により、対前年度比で約23億円の増となりました。
- 補助費等は特別定額給付金の給付などにより、対前年度比で約372億円の増となり、扶助費を上回りました。

5 市債残高及び積立基金の状況

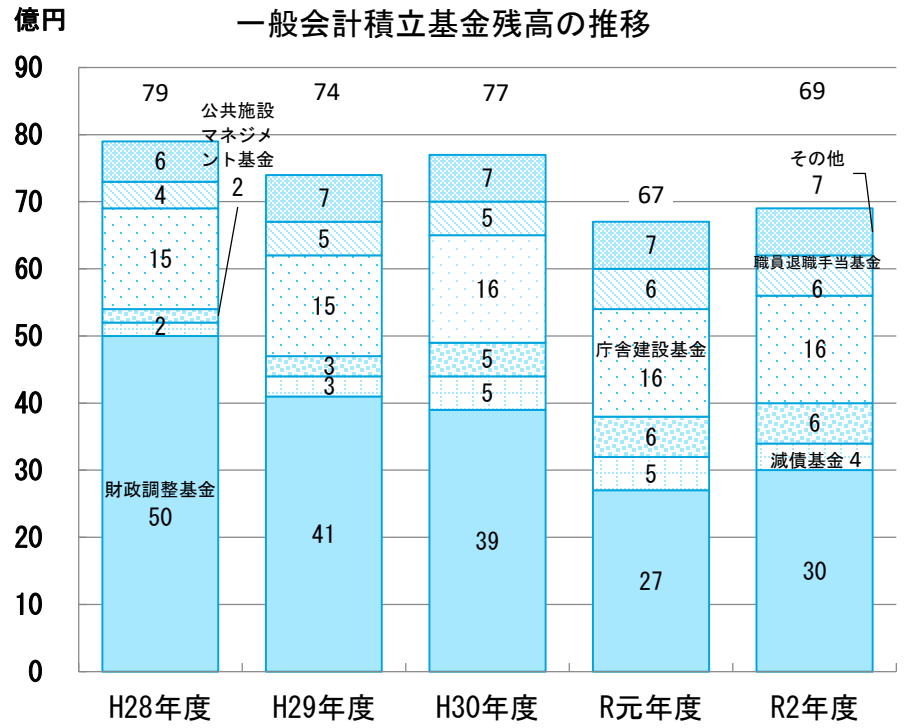
市債残高の状況



※その他・・・減収補てん債及び減税補てん債

- 市債残高は、前年度末より約22億円の減となりました。

積立基金の状況



- 令和2年度末の一般会計積立基金残高は、前年度末より約2億円の増となりました。

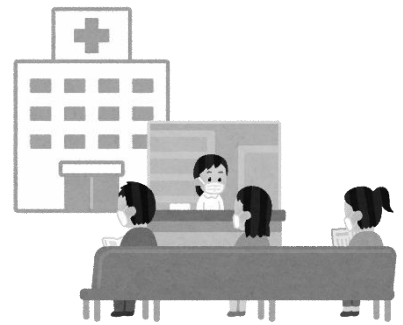
6 新型コロナウイルス感染症への取組

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない中、国や県の財源を活用しながら、喫緊の課題である感染症対策に取り組みつつ、市民生活・地域経済・教育活動への支援を重点的に行いました。

医療提供体制の整備

決算額: 769, 482千円

感染症患者等の入院受け入れや検査体制を確保する医療機関等への補助や、市内の医療提供体制を維持する医療機関等に対して事業継続に必要な支援などを行いました。



感染拡大防止対策

決算額: 956, 317千円

検査体制の確保、感染症発生動向調査、市の各施設の衛生用品の確保とともに、民間福祉施設への感染症対策経費の補助などを行いました。



市民生活への支援

決算額: 36, 516, 609千円

感染症の影響を受けた家計を支援するため、特別定額給付金など各種給付金・手当の給付や、児童扶養手当受給世帯等へのプレミアム商品券の配布などを行いました。



地域経済への支援

決算額: 1, 292, 834千円

市内の中小企業者の経営を安定化するための中小企業者事業継続緊急支援金の交付や、市内の消費喚起のためのプレミアム付商品券の発行などを行いました。



教育活動への支援

決算額: 1, 545, 872千円

感染症の影響下でも学びを保障するための取組の一環として、情報機器端末や電子黒板の導入、学校教育活動のための人材の確保などを行いました。



7-1 主な事業の成果【子ども・子育て、福祉・保健・医療】

- 子ども・子育て分野では、安心して妊娠、出産、子育てができる環境づくりに向けた施策を推進しました。
- 福祉・保健・医療の分野では、住み慣れた地域で、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまちづくりを推進しました。

子育て安心施設の整備

通勤等で公共交通機関を利用する子育て世代の利便性を高め、安心して子育てができるよう、本川越駅周辺に保育機能を併せ持つ子育て安心施設を整備しました。

決算額：776,284千円



令和3年7月に供用を開始した子育て安心施設「すくすくかわごえ」

(担当部署：こども政策課)

ひとり親家庭等学習支援事業

児童扶養手当を受給しているひとり親家庭等の中学生を対象に無料の学習教室を開催し、学習指導や進路相談を行いました。

令和2年度からは、公共施設を活用することで開催日数を拡充しました。

決算額：13,928千円



(担当部署：こども家庭課)

予防接種の推進【一部コロナ関連】

令和2年10月から乳幼児の重い胃腸炎の原因となるロタウイルスのワクチンを新たに定期接種化しました。また、高齢者等のインフルエンザ予防接種を無償で実施し、冬期の新型コロナウイルスとの同時流行に備えました。

決算額：980,535千円



(担当部署：健康管理課)

7-2 主な事業の成果【教育・文化・スポーツ、環境】

- 教育・文化・スポーツ分野では、学校・体育施設などの長寿命化を図るとともに、感染拡大などの緊急時においても、ICTの活用によりすべての児童・生徒の学びを保障できる環境を実現するための取組を進めました。
- 環境分野では、引き続き老朽化した施設の延命化に向けた改修を推進しました。

小・中学校情報教育推進【一部コロナ関連】

国のGIGAスクール構想の加速化に対応した児童・生徒1人1台の情報機器端末の導入、全普通教室への無線LANと充電保管庫の整備、普通教室と一部特別教室への電子黒板の導入などを実施しました。

決算額: 2,155,394千円

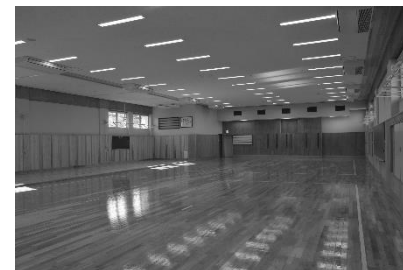


(担当部署: 教育センター)
※令和3年度から教育指導課

武道館耐震改修

川越武道館の長寿命化を図るため、令和元年度からの2箇年継続事業で武道館耐震補強工事と老朽化した設備等の改修工事を実施し、令和2年10月に再供用を開始しました。

決算額: 234,076千円



改修後の川越武道館

(担当部署: スポーツ振興課)

東清掃センター大規模改修

焼却施設・リサイクル施設の延命化を図るため、令和元年度から令和3年度までの3箇年継続事業で主要設備等の改修を実施しています。

令和2年度は、焼却施設・リサイクル施設の設備の一部更新が完了しました。

決算額: 710,840千円



更新後の東清掃センター1号焼却炉

(担当部署: 環境施設課)

7-3 主な事業の成果【都市基盤・生活基盤、地域社会・市民生活】

- 都市基盤・生活基盤分野では、駅周辺施設の改修・整備による都市機能の向上を推進しました。
- 地域社会・市民生活分野では、公園の整備などによる生活環境の向上と、地域内の交流の充実を図りました。

川越駅東口駅前広場改修

竣工から約30年が経過している川越駅東口駅前広場の安全性を向上させるため、平成30年度から令和3年度までの継続事業で改修を行っています。令和2年度はエスカレーターの供用を開始し、デッキ上に屋根を設置しました。
(担当部署：道路環境整備課)

決算額：861,390千円



デッキ上屋根設置後の川越駅東口駅前広場

川越駅西口市有地利活用事業

川越駅西口市有地に事業実施者が整備した複合施設が令和2年6月に供用を開始し、施設内に「川越市民サービスステーション」がオープンしました。

決算額：201,525千円



川越市民サービスステーションが入る複合施設「U PLACE」

このほか、令和2年度は事業に関連する西口周辺の工事などを実施しました。
(担当部署：川越駅西口まちづくり推進室)

旭町1丁目公園整備

旭町1丁目地内にある旧斎場跡地に、ボール遊びのできる多目的広場や幼児・高齢者がくつろげる空間などの機能を持った都市公園を整備しました。

決算額：112,553千円



令和3年4月に供用開始した旭町1丁目公園

(担当部署：公園整備課)

7-4 主な事業の成果【産業・観光】

- 産業・観光分野では、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ地域経済の回復に向けた取組を推進しました。
- 農業分野では、自然的景観や農業とのふれあいの推進に取り組みました。

プレミアム付商品券事業【コロナ関連】

厳しい経営状況にある市内商店、飲食店等の販売促進を図るとともに、地域の消費を喚起し、市内経済の活力回復に資するため、プレミアム率が30%のプレミアム付商品券を発行しました。

決算額：442,083千円



(担当部署：産業振興課)

プレミアム付商品券の見本

中小企業者事業継続緊急支援金【コロナ関連】

売上等の減少により経営の安定に支障が生じている事業者に対し、用途を制限しない一律10万円の支援金を給付し、市内での事業継続を支援しました。

決算額：708,054千円



(担当部署：産業振興課)

グリーンツーリズム整備推進

農業ふれあいセンター改修整備工事に向けた実施設計業務を行ったほか、公共下水道接続管敷設工事調査・設計、駐車場整備工事、農産物直売所改修工事などを実施しました。

決算額：45,302千円



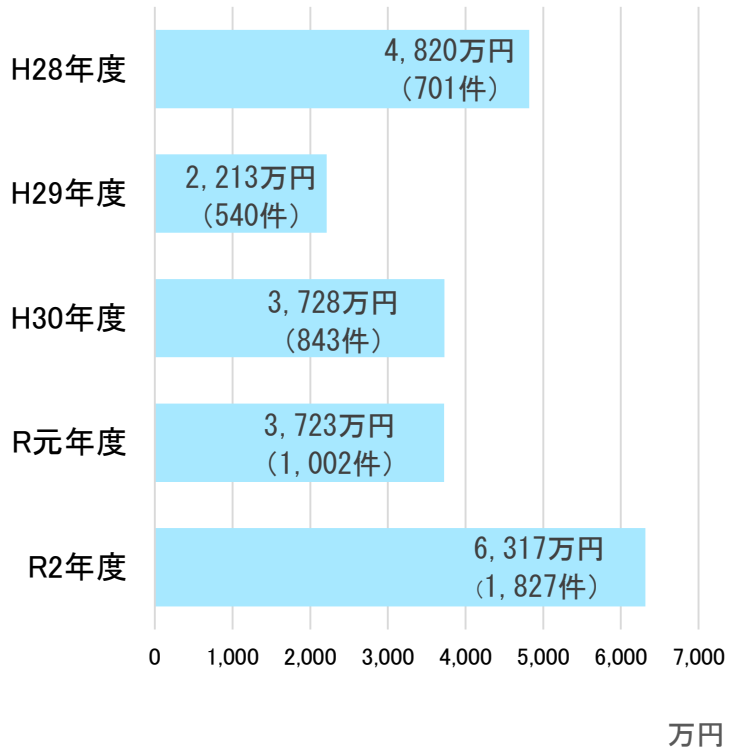
改修予定の農業ふれあいセンター

(担当部署：農政課)

(参考) ふるさと納税の状況

令和2年度は、1,827件、6,316万9千円の寄附金をいただきました。これらの寄附金は、本市の魅力あふれるまちづくりに活用させていただきました。

寄附金の推移(個人)



目的		件数	寄附金額
分野	子ども・子育てに関すること	256	6,025千円
	福祉・保健・医療に関すること	105	2,430千円
	教育・文化・スポーツに関すること	40	847千円
	都市基盤・生活基盤に関すること	44	882千円
	産業・観光に関すること	94	1,905千円
	環境に関すること	72	1,779千円
	地域社会・市民生活に関すること	9	145千円
	住民自治・行財政運営に関すること	6	203千円
	その他の特定事業		
基金	みんなで支える観光基金	159	3,985千円
	文化芸術スポーツ振興基金	49	1,242千円
	大学奨学金基金	128	12,638千円
	市制施行百周年記念事業基金	25	518千円
その他の特定事業 (新型コロナウイルス感染症対策・支援関連等)	524	22,133千円	
一般寄附	316	8,437千円	
合計		1,827	63,169千円